

当院のリサイクルの取り組み —文房具狩り—



医療法人社団 五稜会病院 第10回北海道病院学会
平成22年7月10日

関口香枝 山東真奈美 吉田美津恵 星野弘子
高橋しで子 柴田尚子 田中倉一 八木こずえ

1、はじめに

五稜会病院は治療環境に「**緑を多く取り入れた、心を癒す空間造り**」を大切にしています。

職員の**環境保全**への取り組みの意識付けとして**エコ活動**を積極的に行っています。



僕が五稜会病院での、色々な**エコ活動**を紹介します！

職員で考えたキャラ **エコいち君**

2、当院のエコへの取り組み

- 「**さっぽろエコメンバー**」として活動中(H19年)
札幌市環境局の指定を受け、環境に優しい取り組みを自主的に
行っています
- 厨房からの廃油で送迎バスを運行**(H20年)
食用廃油をBDF(バイオディーゼル燃料)として再利用
- 地下水飲用プラントの導入**(H21年)
水ろ過プラントを設置、水道水の8割を地下水に移行した
- 職員で出来る**エコ活動**
コピー機活用術の習得のため、リコー北海道側を見学
→リコーの取組「コストダイエットプログラム」を当院に導入
・紙使用量の削減
・**文房具のリユース(文房具狩り)**

これらはすべて **CO2 削減につながる活動**

3、文房具狩りとは

☆院内ですぐに実践できる**身近なエコ活動**として
文房具に着目。眠っている資源を有効活用し、
院内の無駄をなくす。

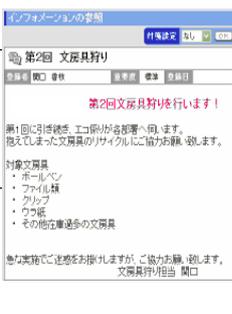
☆個人の**エコ意識の向上**に働きかける。

エコ推進プロジェクトの一環として
病棟クラークと医事課職員計7名が担当

4、院内周知(働きかけ)

院内電子掲示板(インフォメーション)を使用

	文房具狩り前	文房具狩り後
第1回 (2月)	狩りの説明 対象文房具の種類 狩りの日程	展示場所の説明 展示品のリスト 1度きりの発信
第2回 (6月)	対象文房具の種類 狩りの日程 ポスター掲示追加	展示品のリスト 在庫状況 定期的に発信



5、文房具狩り方法

ハンターが各部署を回る

文房具狩りに来ました！
不用品はありませんか？

リユース率の高い物が出てきた

文房具を狩る

<狩りの結果と反応>

- ・多量の資源の採掘
- ・喜んで出された
- ・箱詰めもされていた



仕分け作業中

大量に集まりました

ファイル類 ダンボール1箱分
ペン類 買い物袋3袋分
使用可 9割 使用不可 1割

仕分け後の戦利品置き場

完成！！

中古ですがまだまだ現役です

6、施行後アンケート結果 142名 回収率 86%

リサイクルされていると思うか 今後も続けた方が良いか

いいえ 16% はい 81%

いいえ 14% はい 84%

今後も続けて欲しい要望が84%!

自宅から持ってきたり持ち帰っても良いか

パソコン用品、ビニールテープも回収して欲しい

7、実施結果と考察

- 活用可能な資源が数多く得られた。
➡ 狩りの効果があった
- 使用不可の資源も混在。確めに時間を要する。
➡ 周知や狩り時に工夫が必要
- 職員の協力度が高く、喜ばれる活動だった。
➡ 身近なエコ活動としては効果的
- 不用品も他部署で貴重な資源として使用された。
➡ リユースの意義を確認できた

8、まとめと今後の課題

- 文房具狩りは協力度も高く、リユース効果も高い活動。長期的に継続して効果をあげることが重要「塵も積もれば…」
- 使用出来る物に限定して呼びかける、各部署に不用品BOXを設置するなど工夫が必要
- 戦利品が停滞しやすい。在庫状況など、職員に常に身近に感じてもらえるよう定期的な周知の方法が必要

地球環境に優しい病院を目指して頑張ります!

手術部に新たに整備されたハイブリッド手術室

文房具をリユース
専用スペースに展示、分配

仕分けし直して展示

北電町が過疎化...

診断機器整備...

平成22年9月3日
北海道医療新聞に掲載される。